



桜はとうかな？ 今年も開催 「お花見会」

日時：4月2日（土） 11:00～14:00
(午前11時にはお集まりください。)

場所：都立狭山公園内
(多摩湖 堤防の下 Wの旗が目印)

会費：会員 2,000円
家族 無料

雨天 中止 (問い合わせは当日午前7時より、小亀会長
TEL 394-6951へ)

会場は昨年と同じ場所です。桜の若木も植えられ、堤防との
一体工事で公園内は整備されております。

去年は少し肌寒く「おでん」が好評でした。今年の天気はど
うでしょうか。晴天と満開の桜を期待し、ご家族そろってご参
加ください。



○ 平成23年4月 定例役員会

日時：平成23年4月9日（土） 13:00～14:30
場所：ふるさと歴史館・視聴覚室（15時から雑学講座があります。）

○ 第72回雑学講座

日時：平成23年4月9日（土） 15:00～16:30
場所：ふるさと歴史館・視聴覚室
講師：川村弘史氏（東京水産大卒 元キューピー役員）
演題：「たまごとマヨネーズの話」

川村氏は久米川町在住で、東村山市社会教育委員を3期務め、現在東村山市の公民館運営
審議委員会会長。昭和36年キューピー入社、主に営業畑を歩まれ、平成11年役員で退職
されました。同社をマヨネーズのトップメーカーに育てあげたご苦労話と、たまごとマヨネ
ーズとの係わりについて、楽しい話をさせていただきます。

○ 新入会員

吉澤 勇さん S37 法
野口町1-46-1008 電話394-8586
吉澤 雅子さん S38 文
住所・電話 同上

☆大学関連会議等

幹事長・事務局長会議
3月5日（土） 14時～ 大隈小講堂 風間事務局長出席
代議員会
3月5日（土） 16時～ 大隈講堂 風間事務局長・井垣さん出席
東京都23区支部大会
3月13日（日） 15時～ リーガ・ロイヤルホテル 小亀会長出席

第71回雑学講座

「ティーパーティーを楽しもう」

平成23年2月5日



世界3大銘茶飲みくらべ」

サンパルネ コンベンションホール

日本紅茶協会 顧問 清水 元

同シニアティーインストラクター 高橋 玲子

一昨年8月 第64回雑学講座で、清水氏に(当時 日本紅茶協会専務理事)「紅茶の話あれこれ」と言う題目で講演を頂いた。今回は その続編として世界各地産の著名な紅茶を飲み比べ、紅茶の味の奥深さを実感すると言うテーマで 講演と 飲み比べを含むティーパーティーをして頂いた。

まず 清水元氏から 総論として紅茶の歴史、世界の生産、消費について 具体的な数値を示しながらの プレゼンテーションがあった。紅茶は 1600年ごろから オランダから、イギリス・欧州へ、その後 イギリスから欧米など、栽培、製法の進化と共に、品質も現在の紅茶に近付き、世界に広く普及した。日本では1856年 ハリスが下田来航時に持参したのが初めとされている。製品は1904年に リプトン紅茶を明治屋が輸入したのが最初である。

現在 世界のお茶の総生産は 約400万トン。紅茶：緑茶の割合は 69:31。最近急激に中国の緑茶の生産量が増えている。(10年前の割合は 76:24) 緑茶を含むお茶の国別総生産順位は、中国、インド、ケニア、スリランカ、トルコと続く。しかし紅茶のみだと インド、ケニア、スリランカの順になる。中国は量的には緑茶が主で世界の81%と 大量に生産している。

さて 講座の主題である「飲み比べの 3大銘茶」とは

○インド産「ダーズリン」 ヒマラヤ山脈に直面する高地で栽培される。やや薄めのオレンジ色、フルーティな芳香が特徴で、特に5, 6月に生産されるお茶はマスカテルフレーバーと呼ばれる芳香があり、紅茶のシャンペン と称されている。

○スリランカ産(セイロン紅茶)「ウバ」 南西モンスーンの関係で昼夜の温度差が大きく、霧が多く乾いた冷たい風で すばらしい渋味の強い紅茶になる。特に 8月末～9月初旬ごろでは メンソールの様な特有な香りがあり 世界的に珍重されている。生産量が少なく高値である。

○中国産「キーマン」 鮮やかな鮮紅色で やや渋味があり最良の物は蘭の甘い香り、スモーキーな香味が特徴。中国工夫(コングー)紅茶の代表的存在。

さて 飲み比べられた皆様 世界3大紅茶の味を、そして その違いを堪能されましたでしょうか？

次に 紅茶とケーキを頂きながら 高橋玲子氏から 紅茶道について、紅茶を点てる実演と 紅茶 を頂くマナー等を交え お話を伺った。

「紅茶をおいしく入れる ゴールデンルール」

○ポットを使い、冷めないように事前に湯通しして暖めておく。新鮮な良い軟水を使う。(例えば水道水を浄水器を通して汲出した水)

○茶葉の分量をきちんと計る。一人分で *大型の葉(OPタイプ 7～12mm)：TS大山 1杯

*小型の葉(BOPタイプ 1～3mm)：TS中山 1杯。

○完全に沸騰した直後の熱湯を使う。香気成分が充分引き出せる。2杯目が冷めない様に ティーコージ(綿入れ帽子)を掛けると良い。

○蓋をしたポットの中でじっくり蒸らす。*大葉：3～4分、*小葉：2～3分

「ティーパーティーの心得」について。(至福の一時を過ごす配慮)

○場所は 応接間、洋風リビング、庭先やテラスも良い。原則 食堂は使わない。

○テーブルセッティングの テーブルクロスは麻。刺繍やカットワークはなお良い。トップクロスも優雅で好ましい。

○テーブルの花は 香りが少なく、小型で中央部に控えめに生ける。向かい側に座っている人が 隠れない様に。

○客人は少人数が好ましい。ホストは主婦で、お茶は主婦が客人の為に、茶液の濃さ、砂糖 /ミルク/ レモン等の趣向を聞きながら 会話の中で 味、香りなどを調整しながら点てる。

お替りは何回でも良いが、客人が自分で入れてはいけない。

○ハイテーブルの場合は、カップだけを持上げて飲む。ローテーブルの場合はナップキンを膝に載せ 受け皿を共に持って飲む。

今回の講座は **紅茶**と言う高尚な響きのあるテーマで、しかも 銘茶を飲み比べると言うめったに経験出来ない企画であった事もあり、殆どPR活動をしなかったにも係らず参加者が約90名。

しかも 会員以外の市民の方の参加が多く大成功であった。講座の内容も濃く、企画もお話もすばらしかった。又 大量のカップ、ポット、ナプキン、パーティー設備など提供頂き、且つ運搬までして頂いた **清水様、高橋様**に 心より御礼申し上げます。加えて 参加者全員にお土産の紅茶を頂き 恐縮の極みで有ります。又 茶を点て多くの参加者全員にその都度運ぶ事など 裏方の大変な作業があった。これらは 女性の稲門会会員そして多くの会員の奥様方の献身のご協力が有った賜物である。

皆様 今後は 今日の教えを守って 美味しい紅茶をたんと頂きましょう。

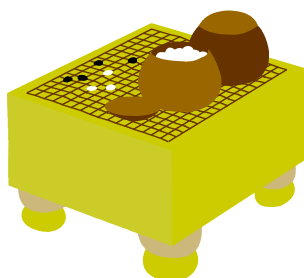
(福田昇七 記)



同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

囲碁同好会



世話人

福田 晃
高 鷲 近

TEL 394-0593
394-2336

●2月の「例会」は、19日(土)、午後1時より、いつもの市民センター別館で開催されました。寒い日にもかかわらず12名のかたがたが参加され、熱い戦いが展開されました。

「例会」のよさは、棋力に差があっても、ハンデキャップをつけることによって、対等に対戦できることです。したがって、七段と6級のかたとの対戦も可能となります。皆さん、お疲れ様でした。

<参加者/敬称略> 一色・江藤・佐久間・佐野・杉山・鈴木・高橋(鶴)・田島・高鷲・中川・野村・福田(晃)

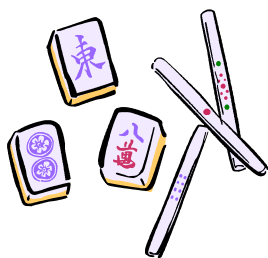
○次回4月は、年2回の「大会」です。第3土曜日を予定していますが、詳細につきましては、次号の『稲門会ニュース』でお知らせいたします。

(高鷲 記)

麻雀同好会

世話人 小野 智 尚 TEL 391-9523
松 永 常 尚 332-5621

第53回大会を下記要領にて開催します。多数、皆様のご参加をお待ちします。



記
日時 3月27日(日)
集合 12時10分
開始 12時30分
場所 三千院 TEL 042-326-5151
国分寺市南町3-18-8 第一中央ビル3F
会費 7,000円 (懇親会費含む)
締め切り 3月18日(金)

[注]

1. 昼食は麻雀店のサービスにて提供
2. 懇親会会場は丸藤
3. 麻雀店の場所の概略地図は12月号稲門会ニュースに案内済み

第52回大会報告

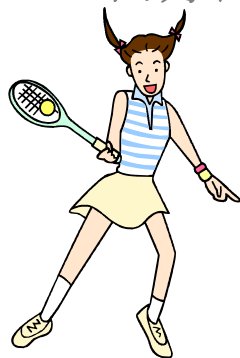
去年12月19日三千院(国分寺)にて参加者12名にて開催しました。
優勝者は3回連続優勝のかかった小亀会長が見事、大会史上初の栄冠を勝ち取りました。如何に強運と強心臓の持ち主であるかは、皆様のご想像の通りであります。
尚また記録史上=第30回 平16.12.5以降=(それ以前は記録されず)2度目の役満達成で、大会に花を飾った人、鈴木氏は多分声の大ききで他者を圧倒したものと思われまふ。ちなみに一回目は第40回大会 平19.9.30で優勝し、得点112で大会新記録を達成しています。
尚、記録史にはありませんが、過去の役満者は、長井、三宅、小野(以上自己申告)の各氏です。当日の参加者は赤荻、朝木、阿部、小野、田口、土橋、中川、番場、松永、三宅の各氏12名でした。

大会終了後、忘年会を兼ねた懇親会を丸藤にて盛大に行いました。

(松永 記)

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



2月の例会は、2月7日(月)、久米川コート4で行われました。好天でしたが、風が強くテニスには少なからず影響しました。参加者は、市川(彰)、當間、戸田、滝来(京)、福田(昇)の各氏と田島の6名でした。久しぶりに福田さんが参加し、稲門会の話にも花が咲きました。

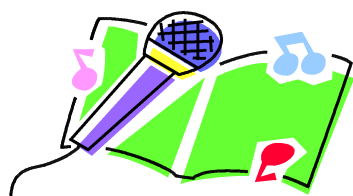
3月はいよいよ合宿、晴天を祈るのみです。

今後の予定

3月 6日(日) 9時~11時 運動公園 Aコート
3月13日(日)~14日(月) 合宿 於 石和温泉
4月11日(月) 13時~15時 久米川コート 4
(予備日 4月18日(月) 13時~15時 久米川コート 4)

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



2月例会を2月5日開催。当初7名の所本日の雑学講座の講師の国分寺稲門会の清水氏、吉田氏も合流9名で賑やかな一夜を過しました。御互いに開催の模様などを話し合い今後の運営の参考に出来る有意義な会でした。

参加者は井垣、井手、高部、高鷲、滝川、南湖、内藤の各氏と前述の2名の9名で寒さを吹き飛ばし、予定を30分延長しました。

今後の予定

3月5日(土) 17:10 カラオケランド ブー
4月9日(土) 17:10 カラオケランド ブー

園芸の会

世話人 當摩照夫・彰子 TEL 396-3033



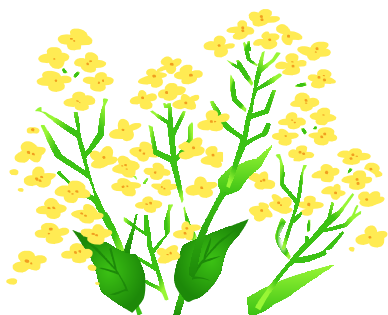
1月25日（火）にさくらそうの芽とサギ草の球根の交換会を行い、総勢12人のメンバーが集まりました。昨年は異常気象の連続で、春は順調だったものの5月が低温、夏の暑さは異常中の異常、と言うわけで、さくらそうの芽が秋に出てしまったり、サギ草はうまく花が咲かない等問題に悩まされた人も多くて、新しい芽や球根が無事に育ったか、皆さんおっかなびっくりで鉢を開けました。その結果は思ったよりは良かったと言う方が多く、何とか芽と球根を持ち寄ることが出来ました。さらに、今年はサギ草の球根を病気の無い新しいものに更新しようと、藤澤リーダー大量に購入されて、わけて頂きました。

藤澤リーダーにあらためて植え付けの実際を教授していただき、皆、思い思いの品種を持ち帰りました。開花が楽しみです。

さて、次回は4月中旬にさくらそうの開花株を愛でる会を、いつものスポーツセンター、で行います。日程が決まり次第お知らせいたします。皆様ふるってご参加下さい。

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



第53回「稲酔」俳句会を旧臘25日（土）午後1時から恩多ふれあいセンター多目的室で開催しました。

当日参加者は栗島三郎、井垣稲雀、風間和夫、幸田瑞雄、小永井哲哉、高部糸行、内藤慎、丸本北窓、の8名。投句参加者は出田麦穂、八木竜湖の2名。兼題「手袋」を含む近詠50句を持ち寄っての、真剣な中にも和やかな3時間の会合でした。

出席者の互選による高点句には

幼子に煙絡まる焚火かな
寒灯や露地に入りたる靴の音
手袋をはずして通夜の列につく
手袋の温みは妻の贈物

竜湖
北窓
哲哉
三郎

の4句が同点で並びました。

第54回は2月26日（土）におこないましたが、その模様は4月号でさせていただきます。

第55回は4月23日（土）に恩多ふれあいセンターで開催の予定です。

（稲雀 記）

郷土史の会

世話人 江藤昌明 TEL 391-4076
伊藤友己 398-1352

郷土史の会の1月の会合は、1月15日に初詣を兼ねて狭山山不動寺の探訪を行いました。

狭山山不動寺には今NHKの大河ドラマで注目を集めているお江与の方、崇源院（徳川秀忠夫人）霊廟の仕切門であった丁子門や2代将軍徳川秀忠の霊廟の勅額門、天人門が移築されています。当日は今まで判らなかつた丁子門の丁子紋の由来についての解釈や、普段見ただけでは判らない不動寺の中に有る貴重な文化財について見学を行いました。

駅前のレストランで昼食をとりながら、三代将軍家光と忠長との確執の原因について最新の学説について考えてみました。

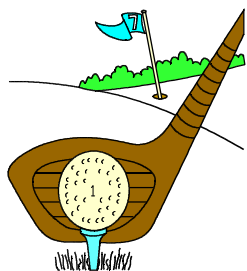
次回についての話し合いを行い、4月には川越を探訪することになりました。

詳細は次号でお知らせいたします。

（伊藤 記）

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和 太 TEL 04-2924-2934



第29回2011年春季ゴルフコンペ開催

第29回東村山稲門会春季ゴルフコンペを下記のように実施いたします。桜もほころぶ我々がホームコースで、存分にゴルフを楽しみましょう。ご家族、お知り合いのゲスト参加も歓迎。

記

開催日 : 平成23年3月25日(金) 8:28~5組
 会場 : 西武園ゴルフ場(所沢市)
 プレー費 : 15,000円(昼食付き)
 (70才以上900円割引)
 参加費 : 4,000円(賞品・パーティー費)
 参加申し込みは世話人までお願い致します。

知っ得ゴルフ(7) 一誤球一

ようやくグリーンに乗せて、パットの構えに入ったとたん「アレッ、俺のボールじゃないよ」と素っ頓狂な声をあげたあなた。今頃気付く人も人ですが、間違われたことに気づかなかった人も人。弥次喜多ゴルフの神髄ですね。

誤球は、2打罰払って自分の球の本来の場所へ戻って打ち直し。間違えられて気付かなかった人も同罪。何打目で間違えたか解らない場合は、そのホールの第2打地点へ戻って第4打目として打ち直し。どのホールからか解らない?やめて帰れ!誤球しないよう他のひととは全く別の方角へ打ってるから安心?勝手にしやがれ!

『ちょっとお客さん。自分のタマの感触くらい解っててよね。この不感症!』

ウォーキングの会

世話人 高橋 正 夫 TEL 309-3407

ウォーキングの会へのご案内

ウォーキングを通じて稲門会会員の親睦の輪を広げたいとおもいます。多数の方のご参加を歓迎しますので、初めての方もお気軽にご参加ください。

事前の予約は不要です。当日ご都合のつく方は集合場所にお集まりください。ゆっくりペースのウォーキングです。



日時 : 3月26日(土曜日)

集合場所と時間 : 東村山駅国分寺方面ホーム中ほどに9時30分までに。

コース : 「武蔵国分寺、お鷹の道と湧水を巡る」

→国分寺駅出発一殿ヶ谷庭園一お鷹の道一湧水群一国分寺一
 文化財資料室一歴史公園一武蔵国分寺公園一国分寺駅

約6.5 km

交通費、昼食・飲み物代は各自負担。

雨天の場合は中止しますが、当日朝8時半までに高橋宛ご確認ください。



第23回ウォーキング記(1月28日)

今回は中井駅に近い林芙美子記念館をじっくり見学しました。貧窮生活の中で数々の作品を世に送った芙美子が、放浪記のヒットでこの地に1000坪の土地と数奇屋造りのみやびな邸宅を2棟建築したが、それがそのまま新宿区に引き継がれて記念館となっています。現在は500坪の土地だが、邸宅はそのままの形で保存されており、戦前のシステムキッチンも興味深い。邸宅の内部だけでなく、庭園も風雅です。

その後、哲学堂公園、百観音(明治寺)、新井薬師とゆっくりとしたウォーキングを楽しみ、縁日の福にあやかった人もいて、

最後は新井薬師駅で散会となりました。

参加者 : 青山・阿部・市川(彰)夫人・小林・滝来(京)・高橋・額田・福田(敬称略)

(高橋記)

○故柴田元様の奥様からお手紙を頂きました。ご本人の了解を頂きましたので、掲載させていただきます。

夫柴田元は昨年八月から療養しておりましたが、一月十九日にがんのため永眠いたしました。夫は自らの力で最後まで病氣と闘っておりました。

葬儀は一月二十一日に近親者にて済ませました。夫の死去に際しましては、稲門会より供花をいただきまして誠にありがとうございました。

稲門会ではさまざまな催しにご出席させていただき、稲酔会、麻雀同好会などでは皆様のご支援を受けながら活動することができました。入退院をくり返しておりました頃も、折々にお声をかけていただき、励まされました。

夫が生前賜りました皆様のご厚情に心から御礼申し上げます。皆様のご健康と稲門会の更なる発展をお祈り申し上げます。

お礼の気持ちとして心ばかりの品をお送りいたしました。お集まりの際に、お役立ていただけましたら幸いです。

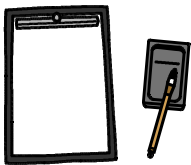
二月九日

柴田裕子

東村山稲門会会長小亀様
稲門会ご一同様

○寄付金の受理について

昨年8月にご逝去されました奥山康治さん（元早大教授）の奥様から当稲門会に、多額のご寄付を頂きました。心から厚く御礼申しあげます。



写経のススメ

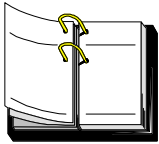
大森 平八郎（S40商）

写経の心得もないので、信仰心からそれをなさる方達に失礼ではと恐縮し乍ら書かせていただく。昨年末で年金関係の電話相談業務を退いた機会に、続けていた書道に専念しようという思いに至った。

稲門書道会に入り、金融機関に在勤中は一時中断したが、五十才を過ぎて書道を再開し十数年が経つ。ただ、大筆による書ばかりで実用的な細字は学んだことがない。賀状等で書いた宛名をみて“下手くそ”と思うことが屡屡あった。そこで、年初より細字の練習にと始めた次第で、極めて“俗っぽい”写経である。少しずつでも上達すればと十日ほど気楽に続けていた時に、親友の訃報が届いた。長い間、病魔に悩まされていた彼の霊前に写経を供えたい。労せず書ける積もりが、何回も躓いた。上手く書けない以上、一字一字を丁寧に書く他なしと決して、漸く書き終えた。見直しても気持ちが籠もったものが出来た。故人に“写経”を教えていただいた。

その後のそれは、今迄と大きく変わったようだ。無意識の内に、字を丁寧に書いているが、我流で気楽にしていた頃と同じで苦痛とはならない。今は用紙の枠内に自然に収まり、当初より字は小さくなり乍らも力強さを増した感がある。いずれ、一字毎に気を執られることなく、一貫して自然体で写経に臨めるようになりたい。

心経を写すという時には六根清浄、目をきれいにすることはもちろん、耳にも般若心経を低い声で唱える。あるいは鼻には香の匂いが入ってくる、体はきちっと正坐するというように、六根を清浄にして心経を書写するということが永く行われている（出所：救いの教典 般若心経のこころ）とあるが、“俗っぽい”写経のままとなりそうである。



今月の行事（3月）

13日(日)～	5日(土)	3月度役員会 3・4月度合同お誕生会 カラオケ同好会
	6日(日)	テニス同好会
	14日(月)	テニス同好会 合宿
	25日(金)	ゴルフ同好会
	26日(土)	ウォーキングの会
	27日(日)	麻雀同好会

4月（前半）の予定

2日(土)	お花見会
9日(土)	4月度役員会 雑学講座 カラオケ同好会



編集局だより

○ 校友会からのお知らせ

2011 北海道日本ハムファイターズ公式戦 特別割引チケットのご案内
 3月29日(火) 3月30日(水) 3月31日(木) (稲門会限定)
 東京ドーム 試合開始 18時(予定)
 対象席種 S指定席 ¥5000→4000
 A指定席 ¥3500→2500
 ビュッフェ付シート ¥4500→4000 (おとな)
 ¥2500→2300 (こども)

購入希望者は小亀(394-6951)まで 3月12日までにご連絡下さい。

○ 次号の原稿締め切りは3月23日(水)です。よろしくお願いいたします。(中村)

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

立春や俗の衣を脱ぎ捨てて 丸本 北窓
 豆つぶを散らしたままに恵方巻 八木 竜湖
 山頂に一筋の跡残る雪 栗島 三郎
 山際の光薄める春の雪 井垣 稲雀
 小庭にもかすかな動き下萌ゆる 合格のメール声あるごとく来て 出田 麦穂
 朝練へ向かう少年下萌ゆる 草萌や声変わりせし孫の背^{せな}中 風間 和夫
 受験子の一気に上がる駅階段 駅伝のアンカー迎へる校歌かな 幸田 瑞雄
 すぐそこと言う早春の遠きこと 寒明けの花舗の彩りいや増しぬ 菊田 一平
 せかせかと薄氷つつく寒雀 猫の子のしたい放題して眠る 小永井 哲哉
 豆もやしひげのもじやもじや春立つ日 夕映えに掃き寄せぬくし落葉の嵩 旅初め埴輪の笑みに会いに行く 高部 糸行
 春一に開きし花のふるえおひ 鉢皿の薄氷にさす朝日影 戸田 泉
 早春やかさこそ音す藪の中 冬満月山に居残る明け六つ 内藤 慎
 松明の火の粉浴び居り春隣 冴え返る空に貼りつく明けの星